

普及現地情報



発信年月日：令和5年（2023年）11月24日
所 属 名：高島農産普及課
番 号：H23016
部 門 分 類：150 野菜
発 信 者 名：中川 奥田

たかしま野菜・園芸塾で管外視察研修を実施しました。

10月29日にたかしま野菜・園芸塾の塾生が農事組合法人「ファームかなや」へ水稻育苗ハウスの有効活用事例を学ぶ目的で視察研修を実施しました。当日は塾生の他、高島市役所、高島地域農業センター等の関係職員も含め、8名が出席されました。

「たかしま・野菜園芸塾」は高島地域農業センターと当課が共同で企画・運営している高島市民の方を対象とした園芸講座です。今年度はトマト・ミニトマト・メロンでの少量土壌培地耕による栽培や高島地域の先進的農業者のほ場で現地研修に取り組んできました。

高島管内は水稻農家の多くが水稻育苗のビニルハウスを所持されていることから水稻育苗ハウスの有効活用による園芸振興が重要となっています。「ファームかなや」では水稻育苗後にミニトマトやスイートコーンなど野菜品目を栽培しており、このような先進的な取組を調査することで、今後の経営に役立てていただくことを目的に実施しました。

視察研修では組合員の方から「ファームかなや」の水稻育苗ハウスの活用状況や野菜栽培について説明をいただきました。ミニトマトは少量土壌培地耕で栽培し、水稻育苗後に栽培のためにプランターや誘引の機材を設置していること。また、平日や土日も組合員が交代制で栽培管理をしていることを話されました。塾生からは栽培における課題や生産物の販売先の反応を質問されるなど、積極的に学ぼうとする姿が見られました。

今後も関係機関と連携して、園芸品目の新たな担い手として継続して支援していきます。



育苗ハウスでの少量土壌培地耕栽培の見学